

# 高潮

## <前提条件>

- ・台風の規模：昭和34年9月に上陸した伊勢湾台風クラス（940hPa）
- ・台風の進路：市川市の被害が最も大きくなる進路
- ・潮位：東京湾千葉港の朔望平均満潮位を想定
- ・海岸保全施設：正常に機能

（国土交通省港湾局が平成21年4月に公表）

この地図は、昭和34年9月に上陸した伊勢湾台風クラス（940hPa）の巨大台風が襲来し、被害が最も大きくなる進路を通過した際に高潮が発生した場合の浸水範囲とその程度を示したものです。浸水の深さは地盤の高さを基準にしています。

## 水の深さ

- 水の深さが5.0m以上の区域
- 水の深さが3.0～5.0m未満の区域
- 水の深さが0.5～3.0m未満の区域
- 水の深さが0.5m未満の区域

行政界

防潮施設

道路冠水注意箇所  
（道路や鉄道の下を通るアンダーパス部など道路が周辺より低く、大雨の時に冠水する可能性がある場所。）

近隣自治体避難場所等  
（近隣自治体が避難場所などとして予定している施設）

## 浸水深の目安



## 想定最大規模

### <前提条件>

- ・台風の中心気圧910hPa（昭和9年9月の室戸台風級）
- ・台風の移動速度73km/h（昭和34年9月の伊勢湾台風級）

平成30年11月に千葉県が公表した想定最大規模の浸水想定区域図は、令和4年6月10日に水防法に基づく区域指定が行われました。この浸水想定区域図は、概ね1,000～5,000年に一度の発生頻度であり、台風のルートや規模、河川・海岸施設の破壊という最悪の条件下で想定したものです。